

講演 「国家戦略としての教育再生」

高崎経済大学教授 八木 秀次 先生



第2次安倍内閣は教育再生を経済再生と並ぶ最重要政策と位置づけている。

教育再生とは何か？ それは教育を国家戦略の中に位置づけて、そのあり方を根本的に見直すことである。安倍内閣の教育再生は何を目指しているのか。教育現場に何を求めるのか。政府の教育再生実行会議の委員でもある講師が解説する。

【プロフィール】

広島県尾道市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、同大学大学院政治学研究科に進み、博士後期課程を中退。高崎経済大学地域政策学部専任講師、助教授を経て2006年（平成18年）から教授。専攻は憲法学、思想史、イデオロギー分析。慶應義塾大学講師、NHK ラジオセンター委員などを歴任し、現在は一般財団法人日本教育再生機構理事長、フジテレビジョン番組審議委員、産経新聞正論メンバーなど。第2回新風賞受賞。

専門の憲法の分野にとどまらず、皇位継承や家族政策などについても発言し、政府や国会、地方自治体、政党などから頻繁に意見を求められている。教育の分野でも「ゆとり教育」を徹底批判したことで知られ、育鵬社の歴史、公民科教科書執筆の中心メンバーでもある。2013年1月、第2次安倍内閣の「教育再生実行会議」委員に選任された。

【主な著書】

- a. 『誰が教育を滅ぼしたか——学校、家族を蝕む怪しき思想』 PHP 研究所、2001年。
- b. 『日本国憲法とは何か』 PHP 研究所〈PHP新書〉、2003年。
- c. 『国民の思想』産経新聞ニュースサービス、2005年。
- d. 『公教育再生—「正常化」のために国民が知っておくべきこと』 PHP 研究所、2007年。
- e. 『日本を愛する者が自覚すべきこと』 PHP ファクトリー・パブリッシング、2007年。